

時 開催時間 対 参加対象  
 所 開催場所 申 参加方法  
 ￥ 参加費 持 持ち物  
 定 定員(選択方法)

9/1  
 9/24 平成30年  
 「生きがいづくり講座・  
 前期」受講生募集

「体験する・学ぶ・交流する」を通じて、  
 シルバー世代の方々に生きがいとなるモノ  
 を発見してもらうための1日体験講座を開  
 講。座学や体操、歌、マジックなど全13講  
 座あります。

所 よりなん 活動室(講座により異なる)  
 ￥ 無料(一部有料) 対 シニア世代の方  
 申 事前によりなんへお問合せください。

※講座内容詳細は「各地域交流セン  
 ター」および「図書館交流プラザ・りぶら」に  
 配架されている案内または、よりなんの  
 ホームページを参照してください。

9/9 第6回  
 むらさきかんフェスタ

6周年の特別企画として「健康体験ステー  
 ジ」を開催。心と身体の健康を目的とした  
 ダンスや体操、演奏体験などが楽しめます。  
 そのほか、ステージ発表や、東部の地  
 域団体による丸太切り体験、作品展示、  
 雑貨や食品の販売も行います。

時 9:30～15:00  
 所 むらさきかん 全館 ￥ 無料(一部有料)  
 申 直接むらさきかんへお越しください。

10/2  
 10/21 みんなのむつみ展

地域の魅力を再発見する機会として、み  
 なさんから六ツ美をテーマにした写真、絵  
 ハガキ、陶芸などの作品を持ち寄ってだ  
 だき、みんなで作品展をつくります。

時 9:00～21:00(休館日を除く)  
 所 悠紀の里 ギャラリー ￥ 無料  
 申 直接悠紀の里へお越しください。  
 ※作品募集は9/23まで

10/7・21 ゆき収穫祭

悠紀齋田の稲刈り・脱穀に合わせて行わ  
 れる体験中心のイベント。焼絵やバルーン  
 アート、空手やバランスボール体操などさ  
 まざまで盛りだくさん。そのほか、食品、雑  
 貨の販売も行います。

時 10:00～14:00  
 所 悠紀の里 全館  
 ￥ 無料(一部有料)  
 申 直接悠紀の里へお越しください。

10/28 よりなん感謝祭

よりなんを利用されているみなさんに、日  
 頃の感謝を込めたイベントを開催します。  
 参加団体やボランティアさんと協力して、  
 ステージ発表、活動体験、作品展示など  
 を行います。地域の方が市民活動にふれ  
 られる楽しい時間を提供します。

時 10:00～15:00  
 9:30よりオープニングセレモニーあり  
 所 よりなん全館  
 ￥ 無料(一部有料)  
 申 直接よりなんへお越しください。

NEWS

人道橋名称募集 8月20日(月)～10月22日(月)

乙川リバーフロント地区のまちの主要回遊動線「QRUWA」の軸とな  
 る『(仮称)乙川人道橋』。2020年には『(仮称)乙川人道橋』が  
 完成し、人道橋から籠田公園までを“通り”として再整備する予定  
 です。これらの「橋の名称」と「通りの愛称」を募集しています！



応募期間  
 2018年8月20日(月)～  
 10月22日(月) 必着

- 資料展示・巡回場所
- りぶら
  - むらさきかん
  - なごみん
  - 悠紀の里
  - やはぎかん
  - よりなん
  - 岡崎市役所  
東庁舎
  - ハッピー  
ハロウィン  
りぶら2018会場

【表彰等】

採用作品各1点に20,000円分の図書カード、1次審査選出作品(うち  
 採用作品を除く各4点)に5,000円分の図書カード、応募感謝賞とし  
 て抽選で40名に1,000円分の図書カードを贈呈

※採用作品、1次審査選出作品に複数応募があった場合は、抽選で1名に決定

※専用応募箱は岡崎市役所東庁舎、りぶら、こもれびかんに常設し、展示期間は巡回場所にも設置。応募は岡崎市乙川リバーフロント推進課にてメール、郵送等でも受け付けています。

お問合せ	よりなん	59-3600	むらさきかん	66-3066	市民活動センター	23-3114
なごみん	やはぎかん	33-3665	悠紀の里	57-5050	まち育て推進チーム	83-9012



特集 「地域福祉を増進する会議運営」  
 地域包括ケア支援事業

「北部地域福祉・医療・住民連携協議会」は、  
 北斗病院(細川地区)を会場に平成27年に始まり  
 ました。同協議会は北部地域包括支援センター  
 (以下、包括)が事務局となり、北斗病院の理学  
 療法士や地域住民が地域福祉について語り合っ  
 てきました。

同協議会は当初、包括と北斗病院の2者間で始  
 まりましたが、次第に出席者が増えたこともあり、  
 最近では「意見はたくさん出るものの活動に至ら

ない」という問題を抱えていました。この会議に  
 参加していた地域住民からの提案で、当法人へ会  
 議運営の支援要請が寄せられました。そして、平  
 成29年度の1年間にわたり、包括職員に伴走する形  
 で会議運営の支援をした結果、意見をもらうだけ  
 だった協議会から具体的活動につながる協議会へ  
 と変貌を遂げました。

今号では、そのサポートメニューやそれによっ  
 て見られた変化についてご紹介します。

# 「地域福祉を増進する会議運営」 地域包括ケア支援事業

## ●支援に至った経緯

『北部地域医療・福祉・住民連携協議会《細川分会》(以下、協議会)』を主催する北部地域包括支援センターの方から「会議を開いてはいるが会議の進め方が分からず参加者の発言を拾いきれないので、ファシリテーション※1を教えてください」という依頼がありました。この協議会は、住民主導の地域福祉の実現を目指しており、「市民自治」の実現を目指すとしてこのような動きをサポートすることは非常に大切なことと考え、平成29年度の1年間にわたりサポートをすることにしました。

はじめに協議会を見学した際に、いろいろな意見が飛び交い各出席者が地域のことを自分事にとらえていることは分かりました。そこで、意見を出し合う「だけ」の会から具体的なアクションにつなげる会にするためのサポートメニューを提供することとしました。

## ●支援前に見えた協議会の課題

- ①集まるのが目的化しており、議事の事前打ち合わせが出来ていなかった。協議会の議事次第も整理されていなかった(議題設定や時間管理も特段行っておらず流れに任せて進行することが多かった)。
- ②ファシリテーター※2不在のため話題が錯綜しており、よい意見が出ていても、それをアクションにつなげられずにいた。(主催者・出席者ともに何を話す場なのか、何を決めたいのか、を無自覚に話すこともしばしば)

※1 ファシリテーション:会議を円滑に進める技術のひとつ ※2 ファシリテーター:実りある会議の進行役

## ●支援の内容

- ★「会議は事前準備が9割」の鉄則に則り、月1回の協議会の前に数回打ち合わせをして議題の整理と落としどころ(会議の成果)のイメージをもった上で当日を迎えるようにしました。
- ★当日はファシリテーター(進行)役・FG役(ファシリテーショングラフィックス=会議内容をホワイトボード等に可視化する役割)・記録役を、はじめの内はりた職員が見本を見せ、その後包括職員が実践していただく、というOJT方式で進めました。

## ●支援の成果

- ◎包括職員が会議運営において適切な役割分担ができるようになりました。
- ◎事前に落としどころの目途をつけ、見通しを持って会議に臨めるようになり、しっかり議論を行い意思決定の出来る協議会になりました。
- ◎りたは、錯綜していた議論(出席者の提案内容)を「訪問型支援」と「拠点型支援」に分類しました。そのうえで、今年はずは拠点型支援をメインに議論することに決定。拠点型支援(ほっとステーションと命名)の将来的な実現を目指し、29年度には3か所で試験的な実施が実現しました。

## ●平成30年度は他地域へも発展!

29年度にサポートを受けた包括職員の成長から、ぜひ他の地域にも!という話になり、30年度のりたは、2つの包括支援センター(竜美丘、六ツ美)を支援しています。

りたが第三者的視点で議論を整理することを基本とし、包括職員や地域が必要としているサポート内容を判断して提供しています。りたと包括がタッグを組んで「住民主導の地域福祉」を推進しています。



### サポートメニュー

- ①会議運営の基本的考え方
- ②議題整理のコツ
- ③ファシリテーターのコツ
- ④FG(ファシリテーショングラフィック)のコツ
- ⑤議事録の取り方

### 北部包括職員よりコメント

りたさんにSOSする前の私達は、地域の方と協働できる「何か」を模索して文字通り迷走していました。そんな中、りたさんからご指摘いただいたのは目的が複数ごちゃ混ぜになっている、ゴールイメージがない、更に会の進行が不十分!でした。最大の問題は「会議は事前準備が9割」の鉄則が分かっていなかったことだと思います。会議では、参加者全員が目的を共通理解し、その上で共に取り組めるものを形にしていく過程が何より大切なのだと学びました。

# 7月～8月のりた (一部6月開催事業あり)

## やはぎかん 6/30 やはぎかん 防災講座(水害編)



地域の防災意識と自助力の向上を目的として開催するやはぎかん防災講座。今回は4年ぶりに「水害編」を開催しました。前半は市防災課の穴井氏より、矢作地域の水害特性について講話があり、後半は〇×クイズ形式で水害の備えなどについて学びました。参加者からは「水害についての対策は知らなかったので勉強になった」「水害は逃げ時が大事だということが分かった」などの声が聞かれ、「水害」について改めて考える機会となりました。

## 悠紀の里 7/21 おやこ夏まつり



複数の子育て支援団体による実行委員会と協働し、子育て世代の方が市民活動に触れることを目的としたイベントを開催。さらしでだっこ・おんぶ体験やバランスボールを使った体操などが参加者の好評を得られました。

## なごみん 7/24 なごみんカレッジ 手話講座～初級編～



岡崎聾学校中高等部のみなさんを講師に招き、手話を使った挨拶や自己紹介、日常生活に必要な手話の体験会を実施しました。

## よりなん 7/29 昔のあそび体験 フェスタ



地域の老人クラブや高校生が「あそびの先生」となり、子どもに「お手玉」や「竹馬」などの昔のあそびを体験してもらうことで、世代を超えた地域のつながりが深まりました。

## 市民活動センター 7/26 第13回岡崎NPOコラボ ひろば(愛称:おかぶら)

「活動場所と団体のマッチング」をテーマに、活動場所を探している団体と提供できる方が集まって情報交換会を開催。康生通東の「ここdeやるZone」「Global Studies Cafe」や松本町の「じゅげむ」ほか、計8カ所が紹介され、団体活動やまちの活性化について意見交換を行いました。

## 悠紀の里 8/5-26 第3回まち育てスクール 『まち歩き設計ワークショップ』



昨年開催した六ツ美地域の魅力を語り合う「むつみ語り合いカフェ」の参加者を対象に開催しました。今年も5年かけて行う「まち歩き設計」の3年目。地域住民を主体に具体的なまち歩きコースの計画がなされました。

## なごみん 8/7～10 子どものまち 第12回なごみん横丁



子どもたちが仮想のまちを運営しながら、まちづくりを体験するイベントを開催。子どもたちの自主性や創造性を育むと同時に、社会の仕組みを知ることで、まちへの興味を高める機会となりました。

## まち育て推進チーム 8/11 おとがワ!ンダー ランドで乾杯 2018



水辺に新たなにぎわいを生み出そうとする市民、企業、行政が一体となった全国規模のムーブメント「水辺で乾杯」。乙川でも7月7日に実施予定の交流イベントでしたが、悪天候のため延期開催されました。乙川の水辺を活用したい人や楽しみたい人、近隣在住のみなさん、行政の担当のみなさんが「乾杯!」の声のもとに集う機会となりました。

## やはぎかん 8/19 やはぎかん 親子で遊ぼう! 子どもの国

さまざまな遊びを通して創造性を育み、親子や子ども同士のみならず、いろいろな世代の方とコミュニケーションを深めることを目的とした事業。矢作地域で子どもの健全育成に関わる教育機関や地域団体(老人クラブなど)の協力のもと、遊びの企画や運営を行いました。